

令和元年度(第20回)島根県臨床検査技師会精度管理報告書発刊によせて

今年も島根県臨床検査技師会精度管理報告書を発刊することができました。

本会の精度管理調査は今回で20回目を迎えました。本県における精度管理調査は昭和63年頃より臨床化学分野で始まり、月1回のサーベイを実施し、臨床化学分野の精度向上および標準化に取り組んできました。平成12年には臨床化学・免疫血清・血液・病理分野を対象として第1回島臨技精度管理調査を実施、平成18年度(第8回)より対象分野を拡げ、今年度まで継続されています。この間には日臨技臨床検査標準化実践事業の実施や一昨年の医療法等の改正により臨床検査の精度の確保は益々重要なものとなり、それに伴い本調査の果たす役割も増大しています。本調査がこれまで継続できたのは参加施設の皆様や精度管理実務委員をはじめ多くの方々のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、今年度の調査は例年通り8部門について42施設の参加により実施しました。各部門においては実臨床や最近の医療事情も考慮した内容を取り込んでいただき、質の高い調査となっています。また、参加施設側の外部精度管理に対する理解や意識も向上していることが伺えます。これも医療法等改正がもたらした福音といえるかもしれません。外部精度管理は結果が好ましくなかった場合の原因調査や是正が重要であり、本調査においても今後一層フォローアップにも努めていきたいと考えます。

今年度は残念ながら会員施設以外からの参加はありませんでしたが、今後もできるだけ多くの施設に参加いただけるよう内容の改善、充実を図るとともに島根県医師会をはじめとする関係団体との連携を強化し、外部精度管理の必要性についての広報にも努めて参ります。

最後に本調査に尽力いただきました精度管理実務委員をはじめとする関係各位に厚くお礼を申し上げますと共に、本調査が参加施設の臨床検査の更なる精度の向上に寄与することを願っております。

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
会 長 三島 清司